

*not used*

Dof. Doc. No. 1658 (Exh 323)

Translated by  
Defense Language Branch

Dec. No. 7 of Political and Economic Research Series  
Nanking Safety Zone Document.

A Letter Addressed to the Commander of the  
Japanese Army at NANKING.

14th December 1937.

Sir: -- We express hereby our thanks for the beautiful fact  
that the artillery under of your command did not direct fire at  
that Safety Zone and also for the fact that we could make arrangements  
to establish liaison with you about the future plan to be  
adopted for the protection of the civilian Chinese in the aforesaid  
zone.

(Omitted)

When a certain number of Chinese soldiers were trapped into the  
northern section of the city an unexpected event took place. Some  
of them came into our Office and begged us to save their lives.

Some of us on behalf of our Commission went out to call at your  
Headquarters. But they found only one captain on the Han-ching  
Kai. Thereupon we disarmed the Chinese soldiers and interned  
them in a house in the Zone. We should like request your magnanimous  
permission for them to return to peaceful civilian life as  
they are longing to do so.

(Omitted)

For the International Commission  
in the Safety Zone of NANKING.

John H.D. Lieb. (T.N. Phonetic)  
Chairman.

官報號外 昭和十二年九月六日

○第七十二回 常國議會 衆議院議事速記録 第二號

昭和十二年九月五日（日曜日）

午後一時十九分開議

中　　始

國務大臣ノ演説

（國務大臣公爵近衛文麿君登壇）

○國務大臣（公爵近衛文麿君）

昨日開院式ニ當リマシテ、時局ニ關シ時ニ侵逼ナ  
ル勦誅ヲ拜シマシタコトハ、眞ニ懸念感激ノ至ニ  
極ヘマセヌ、私ハ諸君ト共ニ謹シテ聖旨ヲ奉戴シ  
テ、一意報效ノ誠ヲ竭シ、震懾ヲ安シジ奉リタイト  
存スルノテアリマス、  
去ル七月七日北支ニ事變ガ勃發致シマシテ以來、  
帝國政府ガ支那ニ對シテ深リ來リマシタル根本方  
針ハ、既迄モ支那政府ノ反省ヲ求メマシテ、其誤  
レル群日政界ヲ撫慰セシメ、以テ日支兩國ノ國交  
ヲ根本的ニ調停セントスルニアルノテアリマシテ、  
此方針ハ今日ト雖モ何等變ル所ガナイノテアリマ  
ス、唯此方針ヲ遂行致シマスル手段ト致シマシテ、  
從來政府ハ出眾ルダケ事件ノ擴大スルコトヲ防ギ、  
局面ヲ限定シテ事變ヲ收拾ハベク努メタノテアリ

Doc 1359  
Aug

マス、此事ハ今日マテ辰々聲明致シタ通りテアリ  
マシテ、諸君モ御諒承ノコトト思フノテアリマス、  
然ルニ支那側ハ公正ナル帝國政府ノ眞意ヲ諒解  
セサルノミナラズ、帝國政府ノ隱忍ニ乘ジマシテ  
益々侮日抗日ノ氣勢ヲ擧ゲ、統制ナキ國民感情ノ  
激スル所事態ハ愈遠ナル惡化ヲ來シマシテ、局面  
ハ北支ノミナラズ、中支南支ニマテモ波及スルニ  
至ツタノテアリマス、隱忍ニ隱忍ヲ重不テ珍リマ  
シタ我ガ政府モ、是ニ於テ從來ノ如ク消極的且ツ  
局地的ニ事態ヲ姑捨スルコトノ不可能ナルヲ認ム  
ルニ至リマシテ、遂ニ既乎トシテ積極的且ツ全面  
的ニ支那軍ニ對シテ一大打撃ヲ與フルノ已ムナキ  
ニ立至リマシタ次第テアリマス（拍手）抑々一國  
ガ時定ノ他ノ一國ヲ排斥侮蔑スルコトヲ以テ其國  
策トナシ、國民教育ノ方針トシテ新カル思想ヲ幼  
少ナル兒童ノ頭腦ニマテ注入スルカ如キコトハ、  
古今東西ノ歴史ニ於テ未だ曾テ類例ヲ見ザル所テ  
アリマシテ、是カ將來ニ於ケル結果ヲ考ヘマスル  
時ニハ、獨り日支兩國ノ國交ノ爲ノミナラズ東洋  
ノ平和、延テハ全世界ノ平和ノ爲ニ眞ニ篤心ニ鑑  
ヘナイモノガアルノテアリマス、帝國政府ト致シ  
マシテハ從來辰々支那政府ニ對シ、其態度ヲ更メ  
ルコトヲ要求シタニ拘ラズ、諒モ顧ミル所ナク、  
蓋ニ今次ノ事變ヲ起ヒシムルニ至ツタノテアリ

Def Doc 1359

マス、斯ノ如キ國家ニ對シテ眞反省ヲ求ムハ爲ニ  
帝國ガ断乎一擧ヲ加フルノ決意ヲ爲シタルコトハ  
獨リ帝國自衛ノ爲ノミナラズ、正義人道ノ上ヨリ  
見マシテモ、極メテ當然ノコトナリト固ク信シテ  
疑ハヌモノアリマス（拍手）蓋シ東亞ノ和平ナ  
クシテ東亞國民ノ幸福ナシト信スルカラテアリマ  
ス、固ヨリ帝國ノ打擧ヲ加ヘントスル目標ハ、斯  
ル謀レル除外政策ヲ實行シツツアル所ノ支那政府  
及ビ軍隊テアリマシテ、帝國ハ断ジテ支那國民ヲ  
敵トスルモノテハナイノテアリマス、又支那政府  
ニ致シマシテモ、眞ニ能ク反省ヲ致シ、今後我國  
ト提携シテ、相共ニ東洋文化ノ發達ト、東洋平和  
ノ確立ニ向ツテ力ヲ盡サントスル誠意ヲ示スニ至  
リマシダラバ、帝國トシテハソレテモ尙ホ乙ヲ  
追究セントスルキノテハナイノテアリマス。  
併シ乍ラ今日此際帝國トシテ擇ルベキ手段ハ、  
出來ルダケ、遂ニ支那軍ニ對シテ徹底的打擧ヲ加  
ヘ、彼ヲシテ戰意ヲ喪失セシムル以外ニナイノテ  
アリマス、斯クシテ尙ホ支那ガ容易ニ反省ヲ致サ  
ズ、飽迄執拗ナル抵抗フ傾クル場合ニハ、帝國ト  
シテ長期ニ亘ル戰モ勿論併スルモノテハナイノテ  
アリマス、惟フニ東洋平和ノ確立ノ六使命ヲ達成  
スルガ爲ニハ、尙ホ前途ニ幾多ノ難關ガ横ハツテ

Def Doc 1359

上下一致堅忍持久ノ精神ヲ以テ道徳スルノ覺悟ヲ  
要スルト思フノテアリマス

今や、我ガ忠勇ナル將兵ハ全支ニ亘リ萬難ヲ排  
シテ堂々正義ノ陣ヲ達メ、皇軍ノ威力ヲ中外ニ宣  
揚シツハアルコトハ、國民ノ齊シク感動震盪ニ極  
ヘヌ所テアリマス（拍手）又是ト同時ニ全國尊々  
徳々ニ至ルマテ既後ノ熱誠力弱立テマシテ、美ハ  
シキ譽國一體ノ實ヲ示シツハアルコトモ誠ニ力強  
ク感スル次第テアリマス（拍手）顧クハ一時ノ威  
勝ニ醉フガ如キコトナク、此緊張ヲ持續致シマシ  
テ、時頃ヲ克服シ、終局ノ目的ヲ達成シケレバ  
ナラヌト思フノテアリマス、政府ハ茲ニ時局ノ急  
務ニ應スル爲ニ必娶ナル豫算案及ビ法律案ヲ帝國  
議會ニ提出致シテ居リマス

是等ノ法律ニ於キマシテ政府ハ此非當事態ニ對應  
スルヤウニ財政經濟ノ体勢ヲ整フルコトト致シタ  
イノテアリマス、固ヨリ是ガ爲ニ財界ニ無用ノ衝  
突ヲ與ハルコトハ、出來ルダケズヲ避クルヤウニ  
十分ノ注意ヲ拂フ讀リテアリマス、尙ほ事變ノ經  
過、外交ノ事情、財政ノ計費等ニ付キマシテハ、  
ソレソレ主務大臣ヨリ申述べマス、

政府ハ此重大ナル時局ニ當リ、諸君ト共ニ此國家  
ノ大事ヲ禦賀シ奉ルコトヲ以テ、洵ニ光榮トスル  
ト同感ニ、其責任ノ念々重大ナルコトヲ痛感スレ  
マス

Aug 7. 1859

ノテアリマス、諸君ニ於アレマシテモ、宣シク取  
府ノ意ノアル所ヲ諒トセラレマシテ、貴重御審議  
ノ上協賀ラ與ヘラレシコトヲ切望スル次第テアリ  
マス（拍手）

目 分 / うぶり  
證 由 告

右目分、山崎高へ衆議院議院長ノ事ニアル者ナルト  
コロ、承認日本公文七枚ヨリ貳ル件紙ハ、官公文書ノ  
眞偽上保有ニシル、昭和十二年九月三日開議ノ、衆  
議院議事録記載第二號第丁頁ノ該行ノ正確ナル事テ  
ルコトヲ證候シマス

右宣讀中所持大書トアルハ内閣總理大臣公告通牒  
文ニ造アリマス

昭和二十二年四月二十一日

衆議院 山 高 司

右ハ目分ノ西面ニ於テ署名捺セリレハコトヲ上  
級シマス

同日宣讀者 立 宮 人 式 二 次 男 田

6